第５回おかやまマラソン救護・ケア活動奮戦記

令和元年１１月１０日（日)、「おかやまマラソン２０１９」が盛大に開催されました。（公社）岡山県柔道整復師会では第１回大会よりケアブースを設置して、全国のランナーのケガのケア、パフォーマンス向上のお手伝いをさせていただいています。今回は第５回目となり年々充実した大会運営が行われ、全国のマラソン愛好家のみなさんに高い評価をいただいています。７千人以上が参加する大会では、ランナー満足度が全国で最も高いとされ、日本国内でも有数のマラソン大会と言われるようになりました。

参加ランナーはフルマラソン１５，０１６名、ファンラン（５．６km）１，３０４名のスタート前の光景は壮観なマラソン大会と言えるでしょう。フルマラソンでは１３，４９１名の方が完走、完走率は実に８９．８４％。本会会員も数名がチャレンジしています。

澄み切った青空のもと午前８時４５分、号砲とともに晩秋の岡山路へとスタートを切りました。第５回の節目を迎えた「おかやまマラソン２０１９」は岡山県総合グラウンド（岡山市北区いずみ町）前の銀杏並木が沿道の両側を黄色く染めるストリートをスタート地点として行われ、沿道には１６２，０００人の応援の方の声援や、楽団あり、ロックバンド演奏あり、太鼓演奏あり、岡山名物のお菓子や果物、そしてラーメンまで用意され、心のこもったおもてなしはランナーにとっては最高のおもてなしとなったことでしょう。そして本会会員による救護・ケアのボランティアを含め約５，７００人のボランティアがこの大会を陰か

ら支えました。

岡山県柔道整復師会は岡山県鍼灸師会と共同してケアステーションを設置し、早朝から各師会のスタッフが勢揃い、やる気満々で救護、ケアに当たりました。

岡山県柔道整復師会は県都で行われるこの大会を成功に導くため、参加される全国のランナーのみなさんにとって心に残る大会にしていただくため、事前におかやまマラソン実行委員会事務局の方や榊原病院救急部長　津島義正先生をお招きしランナーに対するケア講習会を開催し、会員がそれぞれ基本的な医学的救護研修、実技研修を行い万全を期しました。大会前日にはケアステーションでスポーツ健康相談を実施し、本番当日のケアステーションでは岡山県医師会の救護班、AED 班と連携して車イスで搬入されるランナーの救護など、新たな試みも次々と実施させていただきました。最終的にスタート前１２９名、ゴール後３７６名の計５０５名のランナーのケアをしました。普段は接点のない医療団体との交流などにより新しい発見が数多く、学術、救護研修の場となり、また多くの気づきの場となっています。また前回大会より柔道整復師の養成校である朝日医療大学校にも協力いただき、柔整科の学生さんに補助スタッフ(受付、準備、アンケート調査係)として参加いただいています。

私達は「先人から受け継いでいる柔道整復の技術や心、公益社団法人としての社会貢献の志というバトンをさらに磨きをかけて、これからの柔道整復師を担う若者に伝え、引継ぐ」、そんな貴重な機会をおかやまマラソンと参加していただいた１６，０００名を超えるランナーのみなさまからいただいています。改めて感謝申し上げ、また来年も引き続きボランティアスタッフとしてお役に立ちたいと決意を新たにしています。